

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2014年5月 検針分)

2013年12月～2014年2月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

消費税法等の改正に伴い、平成26年4月1日から消費税率が5%から8%に引き上げられますが、平成26年3月31日以前からガスをご使用いただいているお客様の4月分ガス料金(4月検針分)につきましては、消費税法の経過措置にもとづき、消費税率5%を適用いたします。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

平成26年3月31日以前から継続してガスをお使いのお客さま(4月分:消費税率5% 5月分:消費税率8%) (消費税込)

	単位	(A) 2014年4月	(B) 2014年5月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	249.7310	259.4366	9.7056
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	193.3484	201.4431	8.0947

平成26年4月1日以降からガスをお使いのお客さま(4月分:消費税率8% 5月分:消費税率8%) (消費税込)

	単位	(A) 2014年4月	(B) 2014年5月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	256.8662	259.4366	2.5704
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	198.8727	201.4431	2.5704

●平均原料価格

	単位	2013年11月 ～ 2014年1月	2013年12月 ～ 2014年2月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	85,370	88,100	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	101,340	106,140	
平均原料価格	円/トン	86,510	89,360	62,680

平均原料価格=LNG平均価格×0.9533+LPG平均価格×0.0506 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 89,360 - 62,680 = 26,600 円/トン
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金=基準単位料金 + 0.085×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2014年5月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	235.0178	259.4366	24.4188
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	177.0243	201.4431	24.4188

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分) 平成26年3月31日以前から継続してガスをお使いのお客さま(4月分:消費税率5%)

筑紫ガス株式会社

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2014年4月	(B) 2014年5月	影響額 (B)－(A)
26	7,099	7,368	269

計算式・・・基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)